



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話736-9933
FAX 736-9991

来年10月の市長選に向けて

みんなの会 市政学習会開催

12月20日(日)、住みよい春日部をつくるみんなの会(12団体で構成、代表世話人・松島捨夫)は、来年10月におこなわれる市長選にむけて市政学習会を開催しました。

松本ひろかず議員(日本共産党春日部市議団長)が、「春日部市政の現状と課題」について報告しました。参加者は36名で、報告後、質問や意見、要望が寄せられました。
暮らし・福祉を重視して人口減少ストップを!
前回の市長選挙(2017年10月22日)では、石川良三

現市長が僅差で当選しました。それから3年、市政はどうなったのか。課題は何かを検証しました。

この間、日本共産党と市民の運動によって、子ども医療費の高校卒業までの入院費無料化、学校にエアコン設置、公立保育所増設、児童発達支援センター再整備などが実現しました。その結果、人口減少は一定の歯止めがかかりましたが、下表のように「少子高齢化」が進んでいます。15年前の合併後に、公民館の有料化や市民プールの廃止、指定管理者制度導入による行

春日部市の人口と出生率の推移

2015年策定の国立社会保障・人口問題研究所による春日部市の人口は、2020年10月に22万7,678人と推定されました。

市は、人口減少に歯止めをかけ、2020年10月に、23万3,147人の人口とする目標を立てました。2020年10月の人口は、23万3,558人で+411人となり、目標を達成しました。しかし、年代別人口では、

年代別	2016年3月	2020年11月	増減	%
0~10歳代	38,445人	34,987人	-3,458人	-8.99%
20歳代	22,971人	22,481人	-490人	-2.13%
30歳代	28,050人	23,919人	-4,131人	-14.72%
40歳代	37,348人	35,129人	-2,219人	-5.94%
50歳代	27,869人	32,099人	+4,230人	+15.17%
60歳代	37,846人	28,836人	-9,010人	-23.80%
70歳代以上	44,233人	56,021人	+11,788人	+26.64%
計	236,762人	233,472人	-3,290人	-1.38%

※40歳代までの人口は1万298人減、約32%の減少。

逆に70歳代以上の人口が1万1788人の増。

合計特殊出生率	国	県	市
2016年 3月	1.44	1.37	1.17
2018年11月	1.36	1.34	1.17

「憲法9条の碑」 建立募金 締切りは2月28日

12月17日「建てる会」第6回世話人会議で、「建立募金は来年2月28日に締切り4月中に建設」と決めました。その後は、刻銘はできませんので、ご注意ください。

日曜版の12月27日付と1月3日付は合併号です。1月3日付の新春日部は発行しません。

今尾やすのり議員一般質問

インフルエンザ予防接種無料化
農業支援プロジェクトチーム結成を



10日、今尾やすのり議員は、①コロナ禍だからこそインフルエンザ予防接種の無料化を②市内農業の諸課題対策に担当職員・予算を増やしてプロジェクトチーム結成を、について一般質問をおこないました。

せめて生活困窮者に無料化を

高齢者のインフルエンザ予防接種は、県の取り組みもあり、65才以上の高齢者に12月までの無料化を決め

ました。

日本共産党市議団は、無料化を1月まで延長するよう要望し実現をしました。

党市議団は、この間市議団としてウイルス流行に市民の命を守り、医療体制を守るため、子どものインフルエンザ無料接種や、せめて生活保護・準要保護世帯、ひとり親世帯、多子世帯に対する無料化を要望してきました。

無料化にかかる費用の総額は、12月1日時点の市民23万3413人に対し、今年度の医師会との契約単価一人あたり5403円を単純にかけると約12億6千万円かかります。今尾やすのり議員が全員

の無料化について質すと、健康保険部長は「予防接種法に基づき重症化しやすい高齢者のインフルエンザ定期予防接種については今後も補助をおこないます。」と答えました。

今尾議員は、「私にも生活困窮世帯の方から、予防接種を受けたいが、生活との兼ね合いで逡巡してしまふ、と聞いています。せめて生活保護・準要保護世帯、ひとり親世帯、多子世帯に対する無料化を行うべきです。」と主張しました。

農林水産業費決算額は0・1%台

新型コロナウイルスの影響で、特にコメ農家は窮状にさらされていくテレビ報道や声を紹介し、市の農業決算額と総決算額に対する割合の推移を質しました。

過去3年間では平成29年度1億833万7210円(0・16%)、平成30年度1億277万845円(0・18%)、令和元年度1億348万5581円(0・19%)と、非常に少ない額で推移していることがわかりました。

今尾議員は、「このままでは、危機的な状況です。農業予算・担当職員を増やしてプロジェクトチームを市が中心となって作るべきです」と提案しました。

環境経済部長は、「コロナ禍で庭先販売や、直売所が売り上げを伸ばしており見直されています。農業支援は、人・農地プランをはじめ、すでにプロジェクトチームのような関わりで、市と県、農協、農業従事者などと連携をして事業を進めています。」と、答えました。

12月30日～1月3日までの休日当番医は市ホームページまたは広報かすかべをご覧ください

市立病院 TEL 735-1261 (土・日・祝の昼間と夜間毎日) 内・外 救急相談相談#7119

12/27(日) (小児科系) 竹田クリニック:武里団地3-23-103 ☎735-4501 (内科系) 春日部内科クリニック:備後東1-22-32 ☎738-6161 (外科系) 岩松医院:栄町1-334 ☎761-0077

12/29(火) (内科系) 藤通り大和田内科クリニック:中央2-17-10 ☎760-2220 (小児科系) 岡田医院:一ノ割2-6-21 ☎735-7848 (外科系) みやざわ耳鼻咽喉科:中央1-52-8 ☎745-8733

